

技術報告書第2号・クリミア公開株式会社

圧縮機PB-28： 吐出し圧力の上昇 対象機の分解不要

発注者：クリミア公開株式会社・処理実施者：私営生産・商業企業「リゴンダ」・両社社長による承認：I.E.
ヤスケヴィチ、A.B.ボイコ

ウクライナ・処理：2003年8月19日～21日・技術報告書：2003年8月21日付

製品

XADOリバイタリザント（
摩擦面再生剤）
ゲル状リバイタリザント・使用説
明書第004号（XADO-2002）

処理対象機

往復圧縮機PB-28
3段階の処理（2003年8月19日～
21日）・対象機の分解不要

文書の種類

技術報告書第2号
署名・押印あり

機械類

試験開始時の状態

測定項目

圧縮機PB-28

吐出し圧力**4.0 atm**、大きな運転騒音

処理段階ごとの吐出し圧力

処理は台上で実施し、その後対象機を実運用に投入した。

主要な結果

↑ **12.5 %**

圧縮機の吐出し圧力、4.0 → 4.5 atm

処理段階ごとの圧縮機吐出し圧力

処理段階	吐出し圧力 (atm)	初期値からの変化
処理前	4.0	—
第1段階後	4.2	+5%
第2段階後	4.5	+12.5%
第3段階後	4.5	+12.5%

測定は処理前および3段階の各段階後に、一連の処理サイクル内で実施した。吐出し圧力は第2段階後の時点ですでに4.5 atmに達した。

対象機の運転におけるその他の変化

観察事項	技術報告書の記載内容
吸込み側の負圧	第1段階の処理後、明確に増大
運転騒音	対象機の運転騒音の低減
油面	第3段階の処理後は変化なし（油の減少が停止）

処理実施者および発注者による技術報告書に基づく評価である。これらの事項について、文書に数値による測定値は記載されていない。

技術報告書の記載事項

圧縮機PB-28は、2003年8月19日～21日に対象機を分解せずに3段階で処理された。技術報告書には、第1段階の後すでに「圧縮機の吸込み側の負圧と吐出し圧力が明確に増大した」こと、および運転中の対象機の騒音が低減したことが記録されている。第3段階までに吐出し圧力は**4.0**から**4.5 atm**に上昇し、油面の低下は止まった。その後、両者は結果を直接確認しており、技術報告書には「ゲル状リバイタリザントを投入したクランクケース内の油で対象機を32時間運転した後、『発注者』の発案により、『処理実施者』の保証のもとで実験、すなわち系統内に油のない状態での圧縮機の始動を行った。処理済みの圧縮機は2分間運転した。実験結果は、XADO技術の適用効果を明確に示した」と記されている。



© XADO。無断転載を禁ず。
本結果は、XADO技術により3段階で処理した往復圧縮機PB-28に関するものである。他の機器や運転条件では、測定値が異なる場合がある。署名・押印のある2003年8月21日付技術報告書第2号の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。